



伊藤 徳男さん(86) とし子さん(84)
石越町・第九
昭和27年3月入籍

夫婦共に健康なことが円満のコツ

★結婚当時の思い出は
【徳男】農業をしてだが、農業だけでは生活が苦しかったので、東京に出稼ぎに行った。建設会社や清掃会社で働いて、1992年に退職して帰ってきた。苦労もあつたけど、いい思い出だね。
【とし子】仲人に紹介され、お見合いで結婚したんだ。私の一目惚れだったねえ。美男子だったの(笑)。
★印象深い出来事は
【徳男】海外に行ったことがな。文化が違うと、驚かされることであつから、楽しいね。
【とし子】ハワイで日本のショーがあり、そこで大正琴を演奏したこと。大勢の人の前で、演奏できたので、気持ちよかつた。
★現在の楽しみは
【徳男】ゲートボールだね。今までに市内外の大会で、メダルを40個ぐらい取つた。
【とし子】コーラスだね。今、膝をけがして、休んでだけでも、3年やつてる。早く、みんな歌いだいな。
★夫婦円満のコツは
【2人】2人とも健康で、それぞれ活動できること。
★やりたいこと
【2人】温泉が好きだが、いろいろなところの温泉に入つてみたいね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

いつまでも心の中にはふるさとがある

「広報とめ」を愛読されている皆さま、初めまして。東和町米川出身の阿部と申します。今回、広報に「ふるさとへの思い」ということで私に依頼があり、あらためて、ふるさとを思い出す機会をいただき感謝しています。

もう50年以上前の出来事になります。当時は集団就職の時代。私は1959年3月、大勢の人たちと一緒に列車で上野駅に向かいました。到着した時刻は午前5時。約8時間の長旅でした。

到着するとすぐに、職業安定所職員の就職説明があり、それぞれが各企業へと案内されました。「ここから始まったんだなあ」と上野に来るたびに思い出します。

阿部 俊彦さん(72)

東京みやぎ東和会副会長
東和町(米川3区)出身



東京に住んで50年以上になりますが、今だに「なまり」が抜けません。これは「ふるさと」に対する誇りや思いが、私の心にしつかりと焼き付いているからだと思えます。私の趣味は柔道で、6段を取得。江戸川区で若い人たちに柔道を教えています。毎年8月に、日本武道館で全日本少年錬成柔道大会が開かれています。ある日、中田町の少年が、出場していたことがありました。私は隣のコートで審判をしていましたが、ふるさとの子どもの試合が気になって仕方ありませんでした。これも同郷の思いからでしょうね。

遠く離れていたふるさととは、交通の発達により、とても近くに感じられます。便利な世の中になりました。長い時間をかけて、上野駅まで行ったあの頃は、夢と希望に満ち溢れていました。不安の方ももつと大きかったかもしれませんが、今では、江戸川区北篠崎でプラスチック製品の金型製作の会社を営んでいます。

毎年、東京で開催している「東和会」では、ふるさとの皆さんに参加いただき、思い出を語り合っています。次に会うのが楽しみです。
また、ブルーエッグや紫アスパラガスもお勧め。ブルーエッグは、烏骨鶏と南米チリ原産のアローカナを交配させてできたニワトリから産まれた卵。有精で色の濃い黄身が特色です。紫アスパラガスはアントシアニンを含んでおり、抗酸化作用で老化を防ぐ働きがあるといわれています。



地元産を中心とした新鮮な野菜などをぜひ味わってほしいですね。

【問い合わせ】豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」
☎0225(76)6201

おらほの産直

豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」



地元産のお米や葉物野菜が自慢



大星店長(中央)と従業員の皆さん

今月は、豊里地域産物活用施設「産直がんばる館」の大星友子店長にお話を伺いました。
Q「産直がんばる館」の特徴などについて教えてください
登米市の南の玄関口に位置する「産直がんばる館」は、特産品や工芸品などを数多く展

懐かしむ法要の席羽目は、ずし周り見渡し久しく笑顔

夢を追う母に手を振り行つてきます
東京までの片道きつぷ

道端に散らばる花は、瑠璃の星
酉の刻にもひと際煌めく

おくれ毛を吹きぬけてゆく風やさし
犬ふぐり咲く土手に坐れば

ちぎりたる草を放りて遊びるし
曾孫は今年中学三年

菅原たろ子 (迫)

三浦 智恵 (迫)

阿部 友美 (東和)

熊谷たかよ (中田)

熊谷てる子 (中田)

春の日に誘われ庭の草取れば
寝苦しき夜も心よく眠る

夫逝きて早や一周忌胸うちに
せまる思い出走馬灯のよう

祭り去り人も疎らな公園や
葉桜も又美事なりけり

田園に点在をせる家々の
窓は朝日に輝き始む

桜咲くひざも良くなりクラブ振る
みんな笑顔水分補給

本宮やつの (中田)

阿部ふみ子 (米山)

石崎よしの (米山)

佐々木康子 (米山)

佐藤ヒサコ (米山)

まちの文芸

短歌

作品募集!

●7月号は俳句、川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、5月31日(火)まで応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。応募者多数の場合選考して掲載します。